

我が街の記念碑

近藤勇と新撰組 隊士供養塔

板橋駅 徒歩1分



北区指定文化財でもある供養塔

【北・書記・高橋伸明通信】新撰組隊長近藤勇は、慶応4年に板橋平尾宿にあった一里塚で斬首の刑を受け、首は滝野川三軒家の無縁塚に、胴は滝野川三軒家の無縁塚に

埋葬されました。墓碑は近藤勇、土方歳三のほか殉死した隊士の供養のために、明治9年に建てられたものです。側面には110人の新撰組に関わった人々の名が刻まれています。後世の人が建てたのではなく、新撰組の生き残り隊士である永倉新八が建てたというところが貴重です。



生き残り隊士が建立 傍らには近藤勇の像なども

近藤勇と土方歳三の墓のほかに、隊士たちの名前が刻まれています。新撰組の生き残りとして隊の頭影に努めたといわれています。菩提寺である寿徳寺と「近藤勇と新撰組隊士の墓保存会」は、近藤勇の命日にあたる4月25日またはその直前の日曜日に墓前供養祭を行ない、4月末には、地元の商店街等が滝野川新撰組まつりを行ない、地元の方を中心に多くの人が訪れます。新撰組に扮した人々によるパレードも行なわれます。2003年にはこの供養塔が北区指定文化財となりました。

供養塔のほか近藤勇の像や近藤勇の姿を描いた石碑などがあり、いつも新鮮組のファンによって花がそえられてファン交流帳等も置かれています。歴史ファン、特に幕末あたりが好きな方、新撰組のファンの方は訪れてみてはいかがでしょうか。



注意

ジャンルで活躍するタレントのLiLiCo。(リリコ)。スウェーデン人の父と日本人の母の下、ストックホルムで生まれ育った彼女の生い立ちは壮絶だった。幼少時代に家庭は崩壊、

精神疾患の母には虐げられ、学校ではハーフを理由にいじめられる辛い日々。18歳の時、「アイドルになる」という強い決意で祖母を頼り単身来日。長い下積みを経て人気者となった。

忘れえぬこと

辺野古を守るため

あきらめ悪い人になる

タイル 佐藤 諭



2016年9月、目黒支部の堀田祐子書記から「沖縄に行きませんか」との急な呼びかけに迷ったが、沖縄の基地問題を直接見られる機会と行くことを決める。翌年の支部「沖縄支援プロジェクト」の下見を兼ね、オスプレイヘリパ

詰将棋

持駒 銀、歩、王、銀、歩、銀、歩、銀、歩、飛

6	5	4	3	2	1
		銀	歩	王	
		銀	歩		
		歩	銀		
			銀		
				飛	

チヨット一服(1076) サブスクリプションの時代。なんでも定額で使い放題になりつつある。音楽、映画はおろか、コーヒー、車、電動自転車など、その対象は広がっている。労働界の課題としても「定額働かせ放題」といわれたホワイトカラーエクゼクティブ



【本部・中宿検記】東京の下町、谷中にある古いカメラを扱う今宮写真機店を舞台に、三代目店主の今宮龍一と、カメラの買取依頼をきっかけにアルバイトをするようになった山之内来夏が、お店に訪れる様々なお客さんが持ち込んでくる謎や問題に対して、向き合いながら謎解きをしていく物語です。

谷中レトロカメラ店の謎日和 終サナカ

カメラが導く心温まる謎解き物語。この本は、カメラにまつわる小説ではないかと探している見つけた小説ですが、古いカメラとミニステリー好きには、あまり深く考えずに短時間で読めてしまいま

本ほん カメラ好きは読んでいて納得でき、カメラにあまり興味なくても、そのカメラにまつわるものが謎解きのこのシリーズは、2作目「フィルム、時を止める魔法」、3作目「思いをつなぐレンズ」と、3作ありますが、気軽に読めるミニステリー作品。「修理の基本は観察です」という決め台詞を頭に浮かべながら読んでほしい。(宝島社・600円税込)